

東日本大震災被災地交流事業 事業概要

1. 目的

東日本大震災から四年が過ぎ、今、被災地は、復興に向けて歩んでいます。日本人の強さ、団結力、未来に向かっていく希望は、人々が復興に挑む原動力になっているのだと感じます。

学びたくても学べなかった子どもたち、遊びたくても遊べなかった子どもたちがたくさんいる事、復興に向けて頑張っている人たちがたくさんいる事を私たちは、決して忘れてはいけないと思います。

このプロジェクトから被災地を思う気持ち、相手を思う心を育み、子どもたちの心の成長と家族の絆を深めていく事を目的とします。

2. 事業内容

(1) 史跡探訪

青葉城本丸会館

資料展示館（大人 700 円、中学生 500 円、小学生 300 円）自由

青葉城 戦国武将伊達政宗が築城してから、廃藩置県・廃城令までの約 270 年に渡り伊達氏代々の居城であり、仙台藩の政庁であった。国の史跡に指定されている。伊達政宗が築城した仙台城（青葉城）は約 2 万坪で全国規模の城であった。

(2) 大川小学校訪問

今もなお震災当日のままの姿で残っている大川小学校。大津波で児童 74 人と教職員 10 人が亡くなった。震災の爪跡、慰霊碑を実際に見ることで心に感じるものは尊い。しかし四年が経った今、保存か解体かの論議がなされている。

(3) 講話拝聴

震災を経験した方からの話を聴くことにより命の尊さ、優しさ、絆とは何かを学んでいく。

千葉和彦氏 元大川小学校校長。

震災当時、東松島市立矢本第一中学校の校長として 1,000 人を超える避難者を受け入れる。希望を失った子どもたちに真摯に向き合いながら命の大切さ、希望を与えた。

(4) 福島ひまわり里親プロジェクト本部訪問

福島ひまわり里親プロジェクトとは福島から届くひまわりの種を植えて栽培し、種を採取して福島へ返すという一連の流れを繰り返すことで復興を支援していく事業。

福島の人たちの笑顔のためにひまわりを栽培し、相手を思いやる心を育む。

(5) 福島ひまわり里親プロジェクト応援歌「ひまわり」の合唱

「ひまわり」(作詞:鯖江市立立待小学校児童と岩堀美雪先生 作曲:一途)
を慰問先で全員合唱する。

3 日程 (案)

9月20日 (日)

5時福井発 → 14時仙台着 青葉城見学 → 16時被災地慰問(大川小学校～元大川小学校校長千葉和彦氏案内) → 18時宿泊施設着(食事お風呂)
→ 21時千葉氏による講和 → 22時就寝

9月21日 (月)

7時朝食 → 8時宿泊施設発 → 10時福島ひまわりプロジェクト本部着
仮設住宅訪問ボランティア活動(ひまわりの歌合唱) → 14時福島出発 →
23時福井着